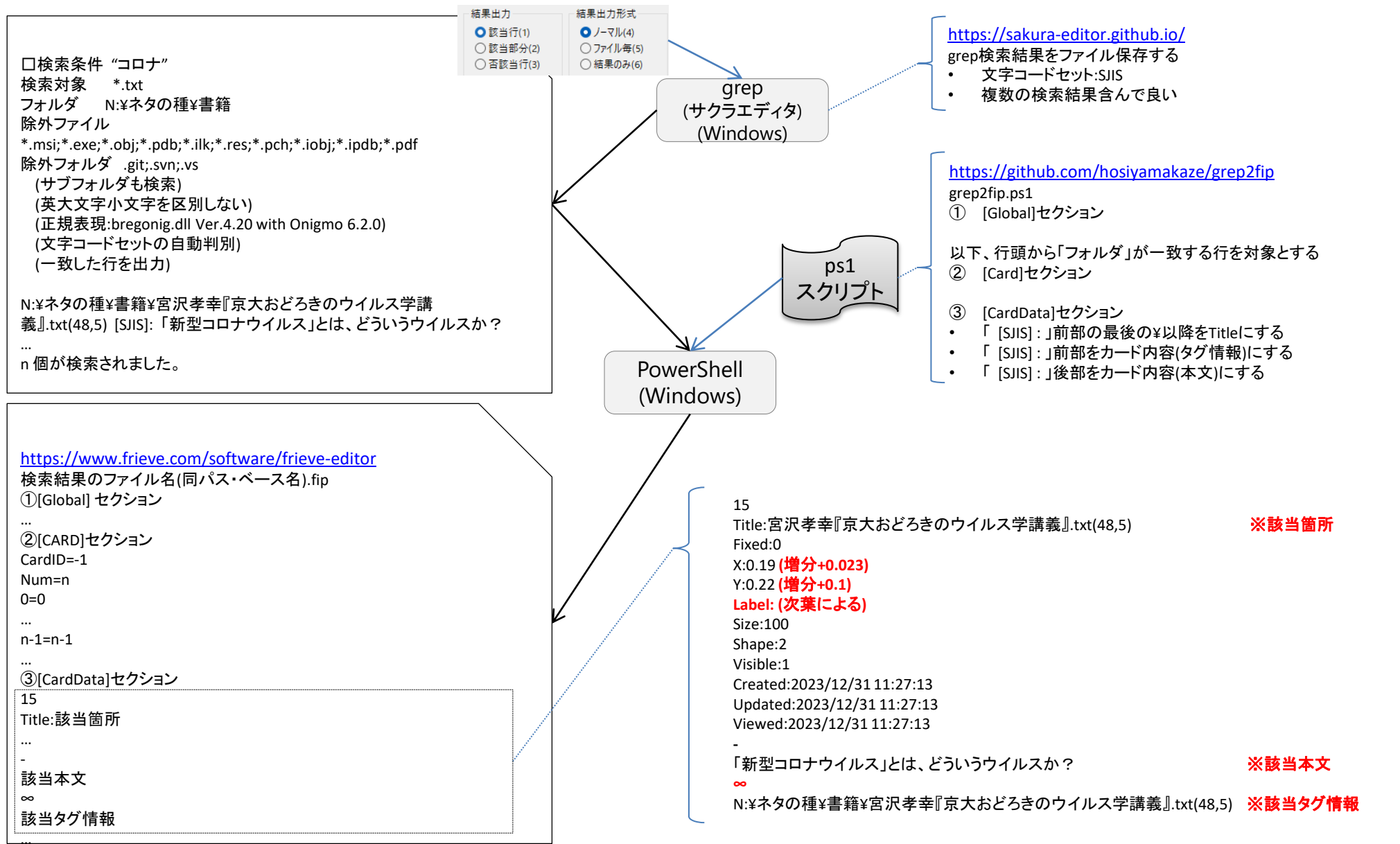


モジュール設計仕様書	システム	idea	アイデアを整理する	作成日	2024/1/1
補足	モジュール	grep2fip	grep検索結果をカード化する(結果出力形式: ノーマル)	作成者	HosiYamaKaze

DFD: 全体像



モジュール設計仕様書	システム	idea	アイデアを整理する	作成日	2024/1/5
補足	モジュール	grep2fip	grep検索結果をカード化する(結果出力形式: ノーマル)	作成者	HosiYamaKaze
DFD: [Label] セクション、[CardData] Label の設定 (機能追加)					
<div><div><div>検索結果のファイル名.txt (該当部) N:¥ネタの種¥書籍¥宮崎貞行『縄文のコトタマが地球を救う』.txt(83,3) [SJIS]: 新型コロナウイルスの持つ意識は、似た波動の人に伝播しやすい N:¥ネタの種¥書籍¥藤井厳喜『国連の正体』.txt(114,9) [SJIS]: 今世界の中心は、コロナです。各国連携、そして国際機関である国連のWHO(世界保健機関)なども号令を取って対処にあたっています。が、あなたは、その国連の「正体」を知っていますか…?</div><div><div>PowerShell (Windows)</div><div>ps1 スクリプト</div></div><div><div>検索結果のファイル名(同パス・ベース名).fip ①[Label] セクション Num=4 0=Co65280,En1,Sh1,Hi0,Fo0,Si100,Na『縄文のコトタマが地球を救う』 1=Co16711681,En1,Sh1,Hi0,Fo0,Si100,Na宮崎貞行 2=Co65282,En1,Sh1,Hi0,Fo0,Si100,Na『国連の正体』 3=Co16711683,En1,Sh1,Hi0,Fo0,Si100,Na藤井厳喜 … ②[CardData]セクション 15 Title:宮崎貞行『縄文のコトタマが地球を救う』.txt(83,3) Label:1,2 - … 15 Title:藤井厳喜『国連の正体』.txt(114,9) Label:3,4 - …</div></div></div><div><div>機能追加) ①Labelの抽出 Title:宮崎貞行『縄文のコトタマが地球を救う』補足.txt(83,3) からBaseName(ファイル拡張子と位置情報を除いた部分)をLabelとする。 Labelが“著者『図書名』補足”のパターンに一致する場合は、 図書名、著者、補足をLabelとする。 ※著名、補足に含まれる() は削除する 図書名に()があるとマッチしないため。全角は良い。 Numは、0ベース Co色は、BGR=(0xFF,0x00,0x00) (青系) / BaseName,著者,補足 BGR=(0x00,0xFF,0x00) (緑系) / 図書名 0x00を連番で採番しRに設定する ②[CardData]へのLabelの設定 [Label]セクションの該当するNum+1をLabel:に記述する Created,Updated,Viewedは、該当ファイルのタイムスタンプを使用する</div><div><pre>PS G:\CMD> G:\CMD\ps\grep2fip.ps1 grep検索結果ファイル名?N:\ネタの種\記事\Frieve-A\コロナ.txt fipファイル名:N:\ネタの種\記事\Frieve-A\コロナ.fip カード枚数を集計中... 済み. 同名のfipファイルが存在します。更新しますか(y/n)?y [Global]セクション出力中... 済み. [Card]セクション出力中... 済み. [Link]セクション出力中... 済み. [Label]セクション出力中... 済み. [LinkLabel]セクション出力中... 済み. [CardData]セクション出力中... 済み. 終了しました.</pre></div></div></div>					

モジュール設計仕様書	システム	idea	アイデアを整理する	作成日	2024/1/5
補足	モジュール	grep2fip	grep検索結果をカード化する(結果出力形式: ノーマル)	作成者	HosiYamaKaze

DFD:Frieve Editor (Show Filter with Label, Arrange:ON Repulsion)

Frieve Editor 弊LANDISK*document*ネットワークの種*記事*Frieve-A*コロナ.fip*

File Edit Insert Animation View Setting Help

Cards: 146 Cards, 0 Links

Card: Title: 茂木誠『世界と日本がつながる 感染症の文明史』 茂木誠 Size: 0 Label: 感染症の文明史 茂木誠

Browser Editor Drawing Statistics

VIEW Arrange: ON Repulsion Zoom: Shuffle Auto Scroll Auto Zoom Find

新型コロナウイルスが流行しはじめてから3年、私たちはようやく日常の生活を取り戻しています。
N*ネットワークの種*書籍*茂木誠『世界と日本がつながる 感染症の文明史』 人類は何を学んだの』.txt(105,3)

宮沢孝幸『京大おどろきのウイルス学講義』.txt(51,5) 久の実典
『新型コロナウイルス』は、キタシラコウモリが元の宿主？

宮沢孝幸『京大おどろきのウイルス学講義』.txt(52,8) 東大上国 コロナ感染症が少ない 理由の「意外な仮説」

宮沢孝幸『京大おどろきのウイルス学講義』.txt(21,4) 何が来る？

宮沢孝幸『京大おどろきのウイルス学講義』.txt(54,5) でもない

宮沢孝幸『京大おどろきのウイルス学講義』.txt(49,5)

宮沢孝幸『京大おどろきのウイルス学講義』.txt(48,5) 『新型コロナウイルス』

宮沢孝幸『京大おどろきのウイルス学講義』.txt(120,24) さらに、「そもそもウイルスとは」

茂木誠『テレビが伝えない国際ニュースの真相 バイオ・サイバー戦争とアフターコロナの世界情勢を占う！』

茂木誠『テレビが伝えない国際ニュースの真相 バイオ・サイバー戦争とアフターコロナの世界情勢を占う！』

茂木誠『テレビが伝えない国際ニュースの真相 バイオ・サイバー戦争とアフターコロナの世界情勢を占う！』

茂木誠『世界と日本がつながる 感染症の文明史 人類は何を学んだの』.txt(105,3) 新型コロナウイルスが流行しはじめてから3年、私たちはようやく日常の生活を取り戻しています。

宮沢孝幸『コロナワクチン 失敗の本質』.txt(18,5) 一章 コロナワクチンの「正体」

『宮沢孝幸『コロナワクチン 失敗の本質』.txt(44,4) 新型コロナウイルスは「陽子」に出るべきウイルスで、

宮沢孝幸『コロナワクチン 失敗の本質』.txt(105,2) 所著』などの著書があるジャーナリスト・鳥集徹氏が、

茂木誠『世界と日本がつながる 感染症の文明史 人類は何を学んだの』.txt(101,32) 感染予防効果も集団免疫も、当初の想定とは程遠い結果となった

茂木誠『世界と日本がつながる 感染症の文明史 人類は何を学んだの』.txt(63,2) コロナバブルを終わらせたか

宮沢孝幸『コロナワクチン 失敗の本質』.txt(84,5) コロナ騒ぎはもうやめろ

宮沢孝幸『コロナワクチン 失敗の本質』.txt(1,6) 宮沢孝幸『コロナワクチン

宮沢孝幸『コロナワクチン 失敗の本質』.txt(27,4) ゼロコロナは幻想

宮沢孝幸『コロナワクチン 失敗の本質』.txt(31,2) コロナ失敗の本質』

宮沢孝幸『コロナワクチン 失敗の本質』.txt(63,2) コロナバブルを終わらせたか

茂木誠『世界と日本がつながる 感染症の文明史 人類は何を学んだの』.txt(105,3) 新型コロナウイルスが流行しはじめてから3年、私たちはようやく日常の生活を取り戻しています。

N*ネットワークの種*書籍*茂木誠『世界と日本がつながる 感染症の文明史』 人類は何を学んだの』.txt(105,3)

View

Label Limitation

Label: Fold: All Clear Show: All Clear Hide: All Clear Link Label: Show: All Clear Hide: All Clear

Label Name Enabl Fold Show Hide Size

Newton別冊

『京大おどろ

宮沢孝幸

『「反日中韓」

鳥集徹

『万物の起源

中込昭明

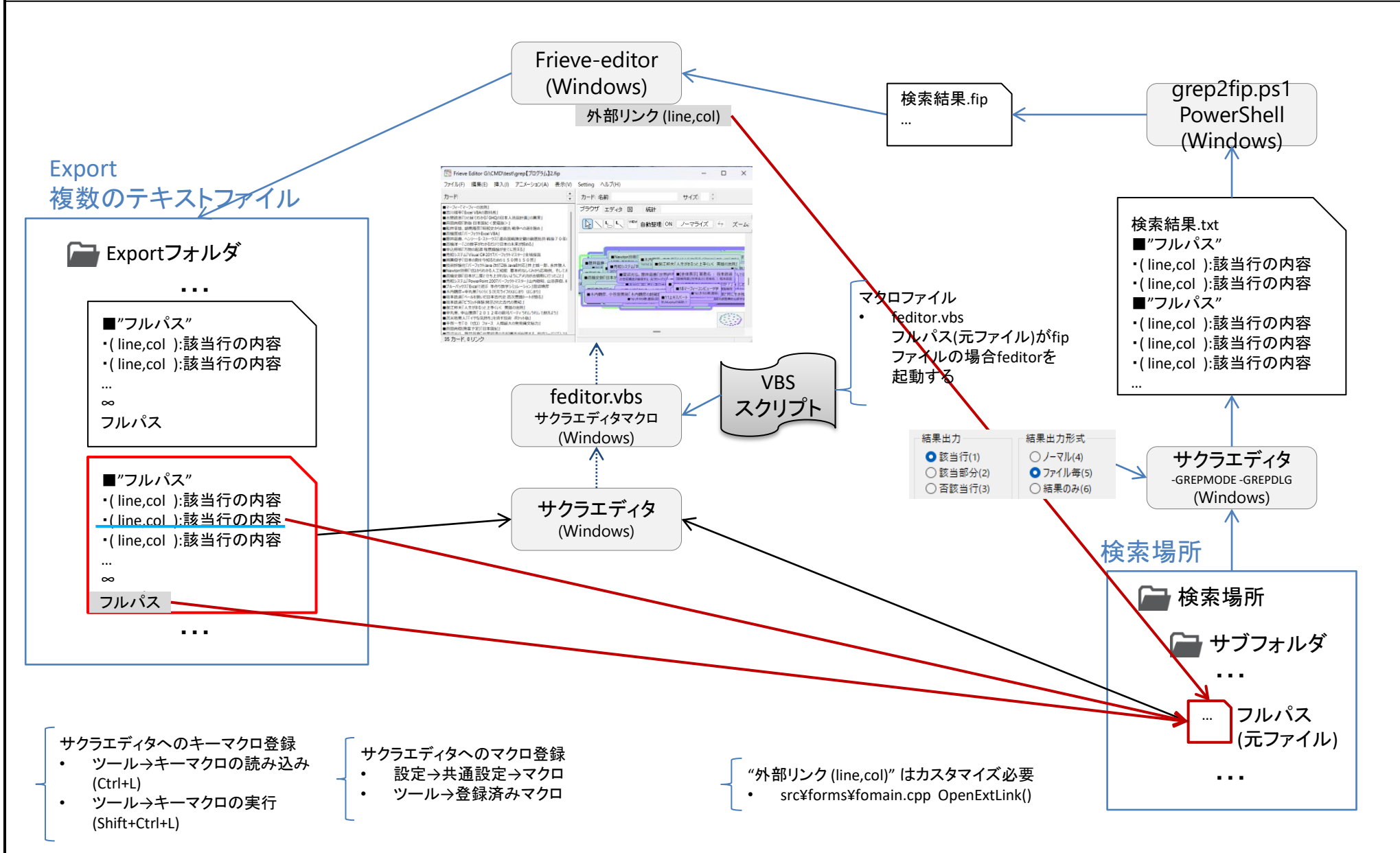
『テレビが伝

茂木誠

伝説記事

モジュール設計仕様書	システム	idea	アイデアを整理する	作成日	2025/1/14
補足	モジュール	grep2fip	grep検索結果をカード化する(結果出力形式:ファイル毎)	作成者	HosiYamaKaze

DFD: サクラエディタのタグジャンプを継承する形式でカードにする(エクスポートしたテキストファイルを開きタグジャンプする)



モジュール設計仕様書	システム	idea	アイデアを整理する	作成日	2024/12/31
補足	モジュール	src¥forms¥fomain.cpp OpenExtLink()	カードに関連付けられた外部リンクを開く	作成者	HosiYamaKaze

DFD:Frieve Editor (外部リンクがサクラエディタのタグジャンプの書式に従う場合は、タグジャンプする。.fipの場合はfeditorを起動する)

修正対象)

src¥forms¥fomain.cpp

ヘッダ部)

#include <string>

関数部)

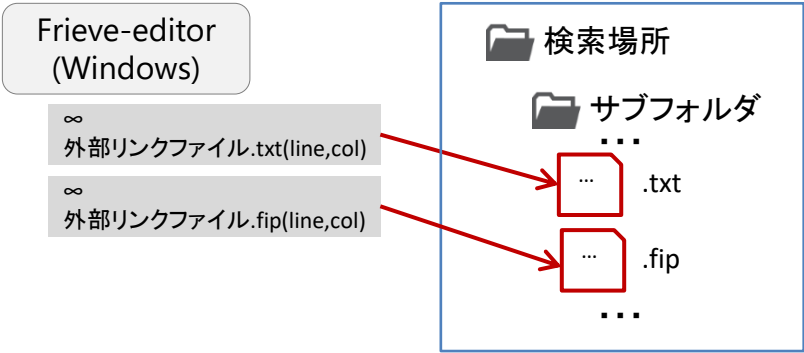
```
void TFo_Main::OpenExtLink(UnicodeString S) {
    if (S.Pos(":¥¥") && (S.Pos(".txt(") || S.Pos(".fip(")))
    {
        //":¥¥",".txt("を含むなら(line,col)"と見做して"-Y=line -X=col"に置換し、
        //sakura.exeを起動する。すなわち、タグジャンプする。
        //環境変数pathの設定を要する
        //コマンドライン>sakura.exe N:¥¥path¥¥file.txt -Y=line -X=col
        //":¥¥",".fip("を含むならfeditorを起動する。
        UnicodeString StrCMD = L"sakura.exe";
        UnicodeString strExtLink = S;

        //TRegEx PTNparam(L"¥¥((¥¥d+),(¥¥d+)¥¥)",roNone);
        //UnicodeString FMTparam = L"-Y=%$1 -X=%$2";
        //PTNparam.IsMatch(StrParam);
        //StrParam = PTNparam.Replace(StrParam, FMTparam);
        //上記のような正規表現を使うとコンパイルエラーを生じる

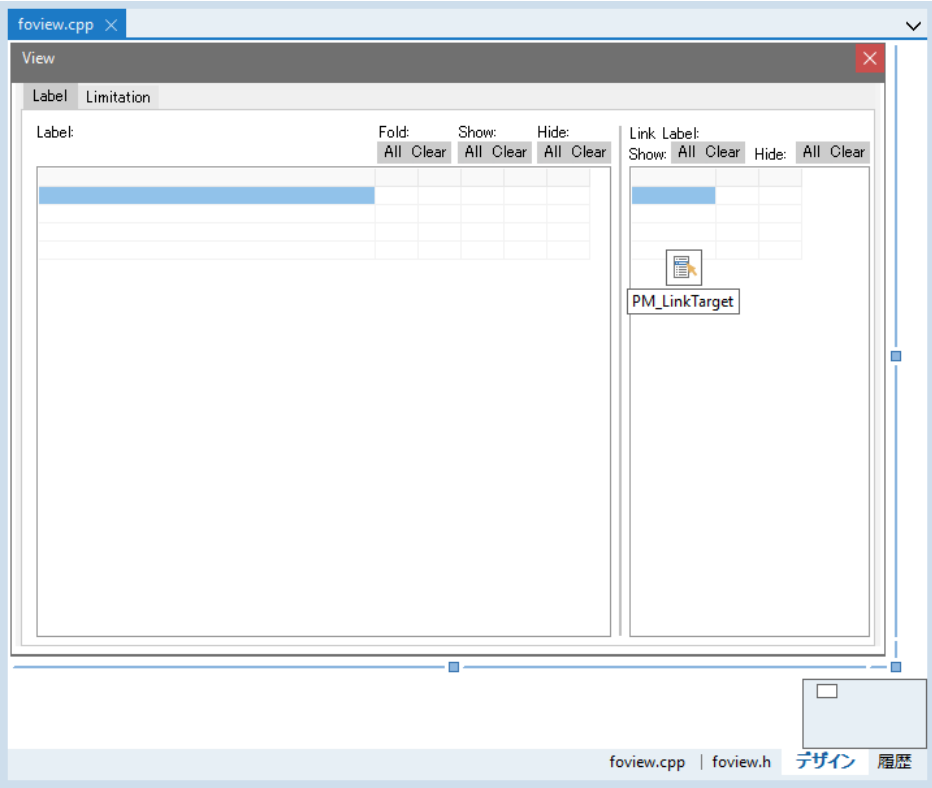
        //なのでやむなく...
        wchar_t leftDel = L'(';
        wchar_t centerDel = L',';
        wchar_t rightDel = L')';
        int posXY;
        posXY = strExtLink.LastDelimiter(UnicodeString(rightDel));
        strExtLink[posXY] = L'¥0';
        posXY = strExtLink.LastDelimiter(UnicodeString(centerDel));
        UnicodeString posXstr = strExtLink.SubString(posXY+1,strExtLink.Length()-posXY-1);
        strExtLink[posXY] = L'¥0';
        posXY = strExtLink.LastDelimiter(UnicodeString(leftDel));
        UnicodeString posYstr =strExtLink.SubString(posXY+1,strExtLink.Length()-posXY-1);
        strExtLink[posXY] = L'¥0';
        wchar_t buffer[1024];
        if (S.Pos(".txt(") ){
            swprintf(buffer, 1024, L"%s -Y=%s -X=%s", strExtLink.c_str(), posYstr.c_str(),
```

```
posXstr.c_str());
        UnicodeString StrParam = UnicodeString(buffer);
        ShellExecute(NULL, NULL, StrCMD.c_str(), StrParam.c_str(), NULL, SW_SHOW);
    }else{
        swprintf(buffer, 1024, L"%s", strExtLink.c_str());
        UnicodeString StrParam = UnicodeString(buffer);
        ShellExecute(Handle, NULL,StrParam.c_str(), NULL, NULL, SW_SHOW);
    }
    }else{
        ShellExecute(Handle, NULL, S.c_str(), NULL, NULL, SW_SHOW);
    }
}
```

検索場所



モジュール設計仕様書	システム	idea	アイデアを整理する	作成日	2025/1/3
補足	モジュール	src¥forms¥foview.cpp デザイン	カードの可視属性を操作する	作成者	HosiYamaKaze
DFD:Frieve Editor (ラベルからの操作性を高めるため、ラベル名欄、Viewを大きくする)					



- src¥forms¥foview.cpp デザインを修正
- Viewフレームを大きくする
 - ラベル名欄を広げる

モジュール設計仕様書	システム	idea	アイデアを整理する	作成日	2025/1/5
補足	モジュール	src¥forms¥fomain.cpp ME_WebSearchClick()	Chromeでwebを開く	作成者	HosiYamaKaze

DFD:Frieve Editor (chrome.exeを使ってselectionからWebサーチを起動する)

修正対象)

src¥forms¥fomain.cpp

関数部)

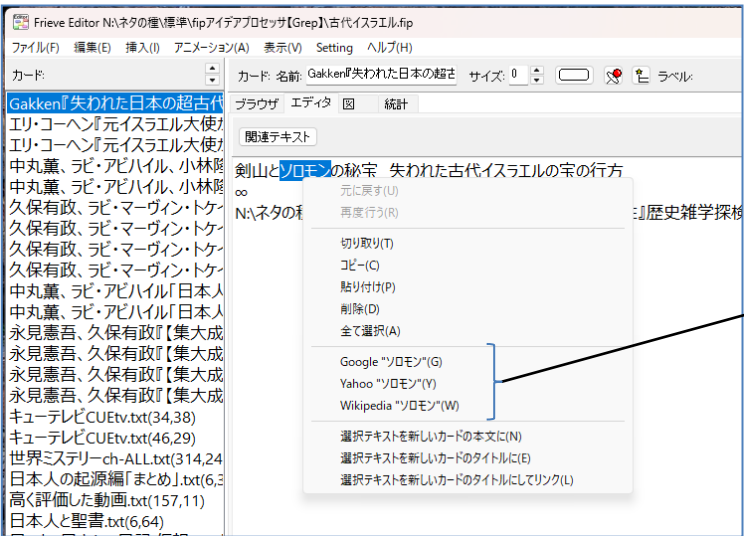
```
void __fastcall TFo_Main::ME_WebSearchClick(TObject *Sender) {
... (略)
//UnicodeString S = Setting2Function.m_WebSearch->Values
// [Setting2Function.m_WebSearch->Names[MI->Tag]] + TIdURI::URLEncode(Key);
//UnicodeString S2 = "";
//ShellExecute(Handle, NULL, S.c_str(), S2.c_str(), NULL, SW_SHOW);

{
//chrome.exeを起動する(環境変数pathの設定を要する)
UnicodeString StrCMD = L"chrome.exe";
UnicodeString StrEngine = Setting2Function.m_WebSearch->Values[Setting2Function.m_WebSearch->Names[MI->Tag]];
UnicodeString StrParam = TIdURI::URLEncode(StrEngine + Key);

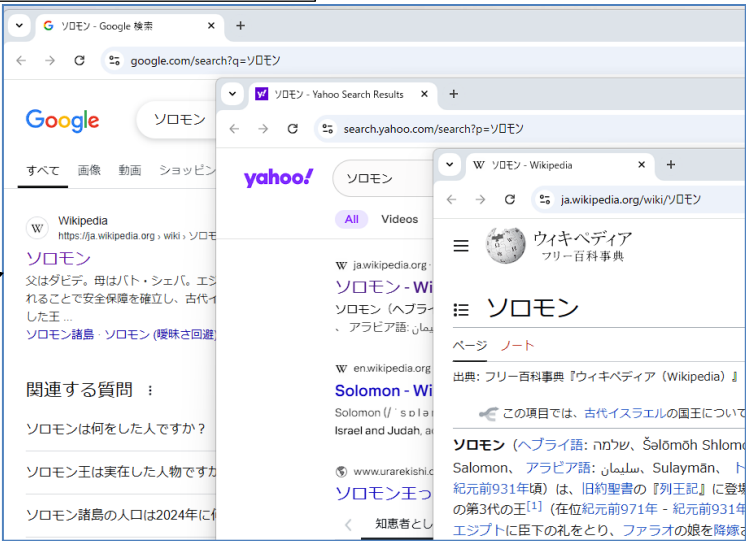
ShellExecute(NULL, NULL, StrCMD.c_str(), StrParam.c_str(),NULL, SW_SHOW);
}
... (略)
```

既定のブラウザを使用する場合)

```
UnicodeString S = TIdURI::URLEncode(Setting2Function.m_WebSearch->Values
[Setting2Function.m_WebSearch->Names[MI->Tag]] + Key);
UnicodeString S2 = "";
ShellExecute(Handle, NULL, S.c_str(), S2.c_str(), NULL, SW_SHOW);
```



chrome
(Windows)



モジュール設計仕様書	システム	idea	アイデアを整理する	作成日	2025/1/10
補足	モジュール	src¥forms¥fomain.cpp AddTxtsInFolder()	インポート「フォルダ内テキスト」で外部リンクする	作成者	HosiYamaKaze
DFD:Frieve Editor (アイデアプロセッサをフロントエンドとして活用し、フォルダ内のファイルを既定のアプリケーションで表示・編集する運用にも対応)					

修正対象)

src¥forms¥fomain.cpp

関数部)

void TFo_Main::AddTxtsInFolder(UnicodeString TopDir, TCard *Parent) {

...(略)

TCard *Card = m_Document->NewCard(m_Document->m_Cards->Count);

Card->m_Title = ExtractFileName(TopDir);

//link to Import Txt Files in Folder...

Card->m_Lines->Add(L"");

Card->m_Lines->Add(L"∞<import:");

Card->m_Lines->Add(TopDir);

...

...(略)

TCard *Card2 = m_Document->NewCard(m_Document->m_Cards->Count);

Card2->m_Title = ExtractFileNameOnly(Data.cFileName);

Card2->m_Lines->LoadFromFile(TopDir + "¥¥" + Data.cFileName);

...

//link to Import Txt Files in Folder...

Card2->m_Lines->Add(L"");

Card2->m_Lines->Add(L"∞<import:");

Card2->m_Lines->Add(TopDir + "¥¥" + Data.cFileName);

...

TLink *Link = m_Document->NewLink();

Link->m_nFromID = Card->m_nID;

Link->m_nDestID = Card2->m_nID;

...

...(略)

※同関数内に同様に計3箇所修正要

Frieve Editor *

ファイル(F) 編集(E) 挿入(I) アニメーション(A) 表示(V) Setting ヘルプ(H)

カード: カード名: A01 サイズ: 0

ブラウザ エディタ 図 統計

自動整理: ON ツリー(放射状) ズーム: シャッフル 自動スクロール 自動ズーム

カードtre2¥A¥A01の内容

∞<import:
G¥CMD¥test¥treRoot¥tre2¥A¥A01.txt

15 カード, 14 リンク

0ラベル 1リンク X:1 行:1/4 文字:1/59 サイズ:67B

作成日時: 2025/01/09 15:42:36 編集日時: 2025/01/09 15:42:36 閲覧日時:

モジュール設計仕様書	システム	idea	アイデアを整理する	作成日	2025/1/11
補足	モジュール	Diff.vbs	インポート元外部リンクファイルとの差分を表示する	作成者	HosiYamaKaze
DFD:Frieve Editor (エクスポートした複数のテキストファイルとインポート元のフォルダ内テキストファイルとの差分を表示する)					

